

事業所名

スリーピース

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

1 日

法人（事業所）理念		笑顔 共生 法令順守					
支援方針		①筑紫野市内居住者の利用を中心に据えつつ地域に根ざしたサービスとすること ②利用者の安全・安心を確保するサービスを提供すること ③利用者及び保護者のニーズ把握に努めた支援内容とすること					
営業時間		10 時	00 分	19 時	00 分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを目的とし、様々な療育活動を組み合わせる支援を行う。具体的な支援として、特定の時間を療育活動と設定しスケジュール通り行動することを学び、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、基本的な生活リズムや生活スキルの獲得を身に付けられるよう支援を行う。また、理学療法士等によるリハビリテーションを実施し、日常生活や社会生活を営めるよう、本人に適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。さらに、生活の中で遊びを通して学習できるように環境を整え、障害の特性に配慮した、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。					
	運動・感覚	身体の運動機能を強化する事によって、日常生活を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援として、体育館や公園での遊びやトレーニングを通して、身体を大きく動かす粗大運動や体力を向上させつつ、PC学習時等の姿勢保持、クッキングでの微細運動への支援を行う。また、いずれの運動機能においても、段階的に身に付けられるよう本人に適したプログラムを策定し支援を行う。さらに、感覚や認知の特性を踏まえ、各種補助機器の活用や感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。					
	認知・行動	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指し、様々な支援方法を組み合わせ提供とする。具体的な支援として、戸外活動や集団活動を通して、外出や集団でのルールや行動を学び、環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。また、活動において成功体験だけでなく失敗体験も積ませることで、こだわりや偏り、失敗に対して対応できるより柔軟な精神を身に付けられるよう支援を行う。					
	言語コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い、様々な状況に対応できるようにコミュニケーション力を身に付けられるよう支援を行う。具体的な支援として、集団活動での個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。また、絵カードや文字等のコミュニケーション機器や多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援を行う。					
	人間関係社会性	経験や体験を通じて社会性の発達を促し、自己の理解とコントロールと集団への参加を目指し支援を行う。具体的な支援として、職業体験や作業等を通して人の動きを模倣することにより、スタッフが介入しながら本人のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるよう支援を行う。また、他者や大人とのコミュニケーションを取れるような環境を準備し、集団や社会参加における人間関係の取り方や対人関係の芽生えなどを学べるようにする。					
家族支援		保護者様の子育てに関する悩みなどに関して、事業所や自宅での様子などの情報交換と、それらを踏まえたうえでの助言・相談を行う。			移行支援		ライフステージの変化を見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。主に職業体験や高校見学での活動を通して支援をし、より多くの経験や人と関わることが出来るよう支援を行う。
地域支援・地域連携		将来的に子どもたちが地域で生活する上で、より生きやすい社会を作ること为目标とした包括的な支援を行う。そのために医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携、個別のケース検討のための会議への出席等を適宜行う。			職員の質の向上		必要に応じて社内研修や公的な外部研修に参加し、それらの内容を社内のスタッフに共有するなど併用しながら、スタッフの知識と技術の向上を図る。また、社員の資格取得におけるサポートも行う。
主な行事等		行事内容に関しては、基本的に利用者自身が主体的に企画しており、季節の移り変わりを感じられるような各季節に沿ったイベントを、PC学習時に企画書を作成して開催する。また、職業体験や高校見学などの活動においては、本人や保護者の意向を聞き取り、可能な限り複数の事業所に協力を依頼し、将来を見据えた経験が持てる機会を用意する。					